（第三種郵便物承認）

伊藤信吉さん生誕100年展

自筆ふすま初公開

前橋文学館　所蔵資料中心に足跡

朔太郎生誕120年

前橋市に生まれ、詩人、評論家として活躍した伊藤信吉さん（九〇六―二〇〇二年）の生誕百年記念展が二十三日、前橋市千代田町の前橋文学館で始まった。県立土屋文明記念文学館の初代館長を務め、本県関連の書も数多くのこしている。初期の詩作や精力的に書いた評論など、文学館所蔵の資料を中心に百五十点を展示、業績を振り返る。一月二十八日まで。

記念展は伊藤さんの出発期に、多大な影響を受けた詩人、萩原朔太郎の生誕百二十年記念事業の一環。前橋在住時代の草野心平らとともに刊行した詩誌「学校」（二九二八年）や初詩集「故郷」（三三年）、評論書「朔太郎に献呈した」島崎藤村の文学（三六年）など貴重な資料が並べ。

朔太郎のほか、高橋元吉や山村暮鳥の郷土詩人の研究書籍も多い。会場奥では九二年、前橋市三町にあった「小料理店いと」で手ぬぐいに墨汗を染ませて俳句を書いたふすまを初公開。俳句の両脇には文学館のスーパーバイザーの司修さんによる絵が描かれている。

文学館学芸員の津島千絵さんは「伊藤さんは広く深く多くの仕事をした人。郷土への思いも深く、群馬の文学も大事にしていた。来場を呼び掛けている。

二十日には、伊藤さんの助手の龍沢友子さんらを招き、思い出を語る集安藤一雄さんら十四人が寄稿し、伊藤さんの仕事をさまざまな視点から論じている。

自筆の書画屏風などが展示されている伊藤信吉生誕100年記念展―前橋文学館

前橋　豚肉で観光振興

TONTON進行中

賛同の飲食100店　年明けのぼり旗

豚肉料理を食の新名物にして、観光振興につなげる「TONTONのまち前橋」構想が進んでいる。賛同する飲食店は店近くに「凍し」、年明けには市内のあちらこちらにかわいい豚の親子ののぼり旗が飾られる。第一弾として考案した「まえばしtonton汁」は取扱店が急増中。この冬、ちょっとしたブームになるかも。

前橋の新名物「tonton汁」はいかが。るなばあくでも人気を呼んだ

学校給食、病院食に

構想は観光を中心としつつ、名物に定着させようと、商品開発やイベントを手掛けている。

「ようこそまえばしを進める会」（会長・曽我孝之前橋商工会議所会頭）が企画。二〇〇八年の全国都市緑化ぐんまフェアに向け、豚肉料理を出す参加店を募集したところ、想定していたトンカツ、焼き肉店はもちろん、和・洋・中に多国籍料理店、ホテル、居酒屋、スナックと幅広い分野の店が名乗りを上げている。

お薦めメニューも定番から個性派までそろう。豚肉料理を紹介するグルメマップを作成する。

一品、地元の食材を使った料理を、お母さんになる若い女性に食べさせたいと熱心に習った。

市教委は一月中に小、中学校の給食でtontonの汁を採用する予定。名物と認めてもらうには市民の支持が欠かせない。

進める会はtonton汁のレシピを募集し、「バター・ゴマ」など参加した北部共同調理場の栄養士、高橋順子さんが、試作を重ねている。

二十三日には前橋るなばあくで試食会があり、寒風の中、元気に遊び回った親子連れが熱々をほおばり、体を温めた。試食会は一十四日と二月の毎週日曜、祝日に開き、一杯三百円で提供する。

「TONTONの輪」は外食産業以外にも広がりつつある。

市教委は、一月中に小、中学校の給食でtontonの汁を採用する予定。

進める会はtonton汁のレシピを募集し、「バター・ゴマ」など参加した北部共同調理場の栄養士、高橋順子さんが、試作を重ねている。

お薦めメニューも定番から個性派までそろう。豚肉料理を紹介するグルメマップを作成する。

豚肉料理を出す参加店を募集したところ、想定していたトンカツ、焼き肉店はもちろん、和・洋・中に多国籍料理店、ホテル、居酒屋、スナックと幅広い分野の店が名乗りを上げている。

ほとんどの店が県産の豚肉を使っているのが特長。豊富にある地場の野菜と合わせれば、地産地消を推進する県部の名物になりそうだ。

進める会は市民や観光客にアピールするため、参加店に無料でのぼり旗を配り、店頭に飾ってもらう。さらに、食べ歩きが楽しめるよう、近く看板料理を紹介するグルメマップを作成する。

やっぱ、ボリュームある丼物にファイアあふれる創作料理、構想に乗って新メニューを考え出した店もあり、tontonうどん、会席、クレープまで登場している。

産出額全国10位

生産　農水省がまとめた2005年の市町村別農業産出額によると、豚肉で前橋は全国10位。合併が進んだ市町村に抜かれ、前年の5位から順位を落としたが、依然として有数の生産地。

カツは5位

消費　総務省の家計調査都道府県庁所在地別ランキング（川崎、北九州市を含む49市区、03―05年平均）によると、豚肉消費量は31位と低迷。ただ、カツ5位、シューマイ6位と加工品は上位にあり、豚料理は人気がある。

焼き肉が52店

店舗　進める会の調査では市内にとんかつ店14、焼き肉店52が確認された。ほるもん専門店は12あり、全国でも多いという。カツ丼やソースカツ丼を扱うそば店も前橋ならではとか。

ごみ減量の思い歌に

館林の市民グループ　リサイクルでPR曲

歌を通してごみ減量をとう」を作り、十二日、市に寄贈した。親しみやすい歌詞とメロディーで、マイバッグキャンペーンなどごみ減量化運動の定着を図る。

歌詞は、渡辺代表が日ごろの活動の中で感じていることをまとめた。「みんなでやれば頑張れるゴミのない街づくり」といった内容で六番まであり、ピアノ教師の井村三千代さん（東部町田市）が作曲、「耳から自然に伝わるように」渡辺代表と、小学生八人による歌声でCDにまとめた。長さは二分ほど。

渡辺代表は「環境活動は無理なく楽しくやることが大切。歌詞にはこれまでの活動の思いを凝縮したが、文字にしただけではなかなか伝わらない」とCD化した背景を説明している。

市は小学校や幼稚園、保育園、公民館など五十カ所にCDを配布、イベントなどで流す。市資源対策課は「ごみ減量プロマンゴグとして定着すれば」と期待を寄せている。

ごみ減量PR曲のCDを手にする市民会議メンバー（手前右が渡辺代表）

「クリスマス」熱演

演劇スクール　地元で初公演

片品

片品村の演劇スクール「尾瀬の郷オゾン・シアター」の旗揚げ公演「クリスマス・キャロル」が23日、村文化センターで行われ、600人が熱演に見入った＝写真。

スクールは中高年の定住促進を目的に、村が9月に開講。23歳から66歳までの男女20人が劇団男の脚本家、河田園子さんから週1回、演技指導を受けてきた。

初公演の演目は英国の小説家、チャールズ・ディケンズの代表作。クリスマスを舞台に、主人公が3人の精霊から自分の過去、現在、未来の姿を見せられることで、思いやりのなかった自らの生き方を反省する物語。

詰め掛けた観客は1時間半にわたる熱演が終わると、盛んな拍手を送っていた。

外国人の住みよい街を

民主党国会議員　大泉など視察

来日外国人の教育や就業、生活の実態を学び、今後の政策立案に役立てようと、民主党国会議員でつくる外国人労働者問題作業チーム（座長・中川正春衆院議員）は二十二日、外国籍住民が人口の16%を占める大泉町などを視察した。

チームは一九九〇年の出入国管理法改正以来、増加する外国人の就労や教育などの課題解決を目指し十一月に発足。この日は議員七人が視察に訪れ、本県関係では、ともにチーム幹事を務める衆院議員の富岡由紀夫氏が参加した。

ブラジル人学校を視察する民主党国会議員

一行は町内のブラジル人が経営する学校や託児所、太田市の富士重工業矢島工場などに足を運び、関係者の声を聞いた。

視察後、石関氏は「外国人と共生していくことを前提に、施策を考えていきたい」、富岡氏は「日本国民と同じような対応をとる必要がある」と話した。

議会が雇用実態調査

玉村町の臨時職員調査で

玉村町が保育所や児童館などで働く臨時、嘱託職員にアンケートを実施した。町議会は、二十三日までに、議会運営委員会の勤務年数や賃金体系など雇用形態を調査することを決めた。町職員を実質的に継続任用していた問題で、町議会が打ち出す針を監視、適切な対応を取るよう呼び掛けていく。

町は、臨時職員が任用終了までの期間に応募することを決定、年明けにも全員協議会を開き、実態調査を始める。合わせて、他の自治体の雇用実態も調べる。

町は来年度も任用する職員に応募を募集に応じ、議会に報告する。

町は来年度以降の雇用実態を調べる。

任用する意向を職員に伝えるまでの一連の流れは、受け、十二月定例会で対応を協議。全議員で問題の把握に努めることを決め、年明けに対応を取りまとめる。

飲酒運転の撲滅を宣言

大泉町区長会

大泉町区長会（宮沢久夫会長）は二十三日までに、飲酒運転撲滅宣言を出した。

年末年始で酒を飲む機会が多くなることから、町民一丸となり交通事故のない地域を目指す。町議会は十二月定例会で飲酒運転撲滅に関する決議を採択している。

町役場で開かれた会議で、宮沢会長は「地域住民の手本となり、区民のみなさんとともに『飲酒運転は絶対にしない、させない、許さない』を合言葉に、飲酒運転撲滅を目指す」と宣言した。

宣言をつづった文書を回覧板で回し、周知を図る。

11月末まで　桐生市

イノシシ捕獲533頭

イノシシの捕獲頭数が統計上最多となっている桐生市で、十一月末までの捕獲頭数が五百三十三頭となったことが、二十三日までの市の集計で分かった。

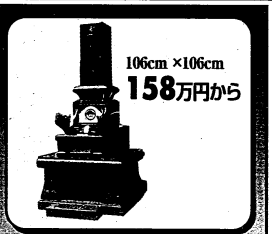
地区別では桐生地区が四百七十一頭、新里地区が十五頭、黒保根地区が四十七頭。桐生地区の捕獲頭数は、前年同時期の約六・五倍に上った。クマの捕獲頭数も十一月末までに六頭となり、統計上最多となった。

市内ではイノシシによる農物被害が相次いでいる。市街地に出没する例も増えており、市農林課は注意を呼び掛けている。

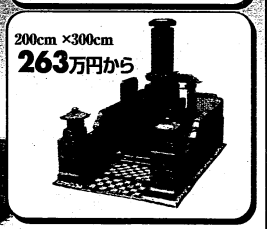
今年もありがとうございました。
来年も宜しくお願い申し上げます。

特許墓石

群馬テレビ　12月8日午後3時～「ビジネスジャーナル」に放映されました!!



106cm ×106cm
158万円から



200cm ×300cm
263万円から

エアサイクルシステム

納骨堂にかえたら

群馬県
1社1技術選定
業界初

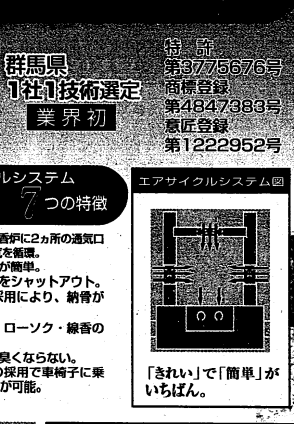
特許
第3775676号
商標登録
第4847383号
意匠登録
第1222952号

エアサイクルシステム　7つの特徴

1.納骨堂に3ヵ所、香炉に2ヵ所の通気口を設置、常に外気を循環。
2.前倒れ扉で納骨が簡単。
3.雨水、湿気や虫をシャットアウト。
4.スライド棚の採用により、納骨がラクラク。
5.雨水をしのぎ、ローソク・線香の火も安全。
6.納骨堂内がカビ臭くならない。
7.バリアフリーの採用で車椅子に乗ったままの墓参が可能。

エアサイクルシステム図

「きれい」で「簡単」がいちばん。



●従業員募集●　意欲の有る方!　経験者優遇!

特許出願中

関越道月夜野IC より車で5分

美の追求　石長（いしちょう）

〒378―0034　群馬県沼田市恩田町180
URL http://www.ishicyo.com
E-mail ishicyo@vega.ocn.ne.jp
TEL.0278-24-1314　FAX.0278-23-3447

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。